

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人うめの木学園

1、利用者の状況

月	就労継続B型	生活介護	自立訓練	就労移行支援	入所支援
4月	34名	54名	0名	0名	45名
5月	34名	55名	0名	0名	46名
6月	34名	55名	0名	0名	46名
7月	32名	55名	0名	0名	46名
8月	32名	56名	0名	0名	46名
9月	31名	56名	0名	0名	46名
10月	31名	55名	0名	0名	46名
11月	31名	55名	0名	0名	46名
12月	31名	55名	0名	0名	46名
1月	31名	55名	0名	0名	46名
2月	31名	55名	0名	0名	46名
3月	31名	55名	0名	0名	46名
計	383名	661名	0名	0名	551名

月	うめの木ホーム	放課後等デイ	支援センター		
			日中ショートステイ	宿泊ショートステイ	相談支援
4月	7名	248名	16名	64名	24件
5月	7名	213名	21名	36名	22件
6月	7名	225名	16名	43名	25件
7月	7名	275名	17名	44名	32件
8月	7名	272名	24名	42名	24件
9月	7名	215名	21名	28名	15件
10月	7名	208名	16名	46名	20件
11月	7名	179名	16名	32名	18件
12月	7名	208名	20名	38名	26件
1月	7名	210名	23名	22名	30件
2月	8名	206名	15名	25名	26件
3月	8名	293名	18名	23名	22件
計	86名	2,752名	223名	443名	284件

ただし、障害児通所と支援センターは、利用延べ人数を記載。

2、行事報告

月	日	事業内容	備考
4	20	健康診断(入所のみ)	利45名
	21	うめの木喫茶	
	27	新年度初会合	利82名、職32名
5	17	歯科検診	石川県歯科医師会2名、利80名
	27	石川県障害者スポーツ大会	利8名、職4名
	31	理事会	
6	2	うめの木喫茶	
	14	金平町老人会との交流会	老人会21名
	15	評議員会、理事会	
7	9	県指導監査	
	20	理事会	
	21	うめの木喫茶	
	28	保護者会	
8	3	輪踊り	利77名、職43名、保ボラ6名 民謡会14名、学生ボラ3名 魚国総本社1名 地域住民多数
	21	いしかわミュージックアカデミーミニコンサート	利83名、職30名、支援学校54名 一般10名
9	6~7	学園旅行・第1陣(滋賀コース)	利19名、職12名
	13~14	学園旅行・第2陣(岐阜コース)	利30名、職11名
	19	学園旅行・第3陣(日帰りコース)	利13名、職14名
	26	学園旅行・第4陣(日帰りコース)	利14名、職14名
	30	県障害者ふれあいフェスティバル出店	
10	6	学園祭	利80名、職42名、保ボラ14名 一般ボラ4名、学生ボラ2名 金野保育所、小松中央合唱団 わ・おん、松東中学校、魚国総本社 小松華舞妓、洞月太鼓
	30	理事会	
	30	婦人科検診	利24名
11	4	ふれあい松東まつり出店	
	10	保護者会	
	17	うめの木喫茶	
	29	後期定期健康診断 <身体計測、血圧測定> <嘱託医健診、検尿> <胸部X線> 27日実施 <血液検査> <心電図> インフルエンザ予防接種	利78名 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所 対象…入所の40歳以上 利65名

月	日	事業内容	備考
12	13	干支入魂式、昼食会(長沖)	利66名、職26名、保1名
	14	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
	15	うめの木喫茶	
	20	クリスマス会	利81名
1	9	初詣	利45名、職15名
	15	左義長	
	19	うめの木喫茶	
2	2	うめの木喫茶	
3	16	うめの木喫茶	
	28	理事会	
	29	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施

3、職員の研修状況

月	日	研修内容	参加者
4	19	福祉協会総会	支援員 1名
5	7	介護職のための接遇・マナー講習会	事務長1名 支援員 1名
	30	石川療育センター研究発表会	サビ管 1名 看護師 1名
6	13~14	障害施設中堅職員研修	支援員 1名
	20	精神福祉医療担当者研修会	相談員 1名
	27	障害施設リーダー研修	サビ管 1名 支援員 1名
7	3	障害施設リーダー研修	サビ管 1名 支援員 1名
	4	精神福祉医療担当者研修会	相談員 1名
	10~11	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
	11	食品衛生責任者研修会	支援員 1名
	12~13	北陸地区障害関係施設職員研修会	支援員 2名
	18	県福祉協施設医療研修会	看護師 1名
	21	介護記録の書き方講習会	支援員 1名
	23	発達障害者等相談支援従事者育成研修	相談員 1名
8	28	福祉の仕事講習	支援員 1名
	28~29	障害施設中堅職員研修	支援員 1名
9	10~11	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
10	5	相談支援部会・地域支援部会合同研修会	相談員 1名 サビ管 1名
	5	感染症予防研修会	支援員 2名
	12~13	市安全運転管理協議会視察研修	支援員 1名
	12	介護職のための医療的知識講習会	サビ管 1名 看護師 1名

	12	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
11	2	精神障害者地域生活支援事業地域連絡会	相談員 1名
	9	サービス管理責任者研修	支援員 4名
月 日	研 修 内 容		参 加 者
11	16	相談支援部会・地域支援部会合同研修会	相談員 1名 支援員 1名
	19~20	虐待防止・権利擁護研修会	支援員 1名
	22	セルフ協工賃向上研修会	支援員 1名
12	3~4	サービス管理責任者研修	支援員 1名
	12~13	サービス管理責任者研修	支援員 2名
	26	感染症予防研修会	支援員 1名
1	30	就労支援基礎研修	支援員 1名
2	17	福祉協栄養部研修委員会合同研修会	サビ管 1名 支援員 3名
	19	サービス管理責任者現任者研修	サビ管 2名
	19	地域生活援助研修会	相談員、看護師、世話人3名
	20	障害者雇用連絡会議	支援員 1名
	22	福祉協生産、就労支援、日中活動合同研修会	支援員 1名
	26~27	個別支援計画基礎研修	支援員 1名
3	12	社会保険委員会研修会	事務長 1名
	22	県事業者説明会	施設長 1名 事務 1名

4、ボランティア受入状況

月 日	活 動 内 容	名 称 等	
4 22	トイレ掃除	加賀能美そうじに学ぶ会15名	
5 19	草刈り	保護者 12名	
7	11~13	職場体験	コマニー(株) 6名
	18	窓ふき外	小松たばこ販売組合7名
	19~20	職場体験	コマニー(株) 2名
	23	紙芝居	一般 1名
	24~26	職場体験実習	松東中学校 2名
28	歌謡ボランティア	紬の会 15名	
8 3	輪踊り	小松郷土民謡会14名 魚国総本社、保護者6名 学生 3名	
9 29	草刈り	シルバー人材センター 8名	
10 8	学園祭	保護者14名、一般4名 魚国総本社、学生2名 金野保育所、松東中学校	

			小松中央合唱団、小松華舞妓 わ・おん、洞月太鼓
2	15	紙芝居	一般 1名
3	13	紙芝居	一般 1名
	14	読み聞かせ	一般 4名

○クラブ活動等定期ボランティア

* 太鼓クラブ	* ビーズクラブ	* 3B体操
---------	----------	--------

○うめの木ボラ パン販売・出前喫茶ボランティア

(1) 定期

- ① パン販売 老人施設(みゆきの郷) 月2回 市役所販売 月1回
能美健康センター 月1回
- ② 出前喫茶 老人施設(愛ランド萌寿) 毎週火曜
学園において 月1回

(2) イベント関係

地元イベント、小松市・能美市主催イベント、福祉関係イベントなどに出店

○その他定期ボランティア

- * 出張散髪 村田理容店(月2回)
- * アロママッサージ 川崎氏 (年4回)

5、施設視察・見学及び実習の受入状況

月	日	受入内容	名称等
6	4~8	職場体験事業	小松特別支援学校生 1名
7	30~8/10	福祉施設現場実習	金城短大生 2名
8	6~10	福祉施設現場実習	金城大学 2名
	20~30	福祉施設現場実習	金城短大生 2名
2	12~3/7	福祉施設現場実習	金城大学 2名

6、補助事業の状況

今年度該当なし。

7、学園内整備事業（自己資金による整備） ※100万円以上掲載

①空調設備改修(ワーク、多目的棟)	37,821,600円
②屋上防水改修(ワーク)	6,134,400円
③ガラス飛散防止対策(全館の必要箇所)	5,508,000円
④食堂前女子トイレ改修(学園本館)	1,674,000円

8、苦情解決制度利用状況

今年度該当なし。

9、ヒヤリ・ハット報告状況

※本年度において、ヒヤリ・ハット報告書の提出件数は31件でした。

○内容	① 転倒	5件	(7件)
	② 送迎ミス	0件	(0件)
	③ 誤薬	0件	(2件)
	④ 無断外出	0件	(2件)
	⑤ 他害行為	6件	(10件)
	⑥ その他	20件	(15件)

※()は昨年度件数

10、地域における公益的な取り組み

(1) 施設の地域開放

- ① 小松市との間で『福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定』を締結
- ② 石川県立小松特別支援学校に駐車場を提供（学校の改修工事のため）
- ③ 石川県立小松特別支援学校にミニコンサート会場として体育館を提供
- ④ 地元老人会に活動場所を提供（交流会実施後の会議場所）

(2) 地域づくり活動

- ① 限界集落になっている地元町内の公民館等周辺の草刈り及び除雪
- ② 高齢化が顕著になりつつある稲作農家に対し、低料金にて、育苗箱の引き取り、洗浄、JAへの返却を代行

- ③ 地域行事の際のテント貸し出し、職員派遣、物品販売の協力
- (3)実施している社会福祉事業の延長上の活動
 - ① 生活困窮利用者(通所)の食費免除
 - ② 家庭の特別な事情を考慮した営業時間外のサービス提供 (早朝等)
 - ③ 課題を有する保護者を持つ児童への特別のかかわり (入浴支援等)
- (4)実施している社会福祉事業を受け皿とした公益的活動
 - ① 障害者手帳を有する職員2名を雇用
- (5)社会福祉の向上に向けた活動
 - ① 福祉系大学・短大及び専門学校からの実習希望者を積極的に受け入れ
 - ② 社会福祉協議会等が実施する福祉の仕事体験希望者を積極的に受け入れ
 - ③ 地元の特別支援学校生徒の実習及び職場体験の積極的受け入れ
 - ④ 地元企業の新人研修としてボランティア・職場体験の積極的受け入れ
 - ⑤ 全国障害者スポーツ大会への職員派遣 (役員として)
- (6)その他の活動
 - ① ペットボトルのキャップをワクチンに交換する事業(エコキャップ運動)に協力
 - ② 公益財団法人日本財団が実施している義援金活動に協力 (職員による100円募金)
 - ③ 公益財団法人日本財団が実施している「夢の貯金箱」事業に協力

11、職員処遇改善事業

平成30年度福祉・介護職員処遇改善加算(区分Ⅲ)を取得し、職員の賃金向上を図るとともに、以下のとおり職場環境等の改善に継続的に取り組んでいます。

- ①働きながら資格取得を目指す職員に対して、勤務の弾力化。
- ②資格取得者に祝い金の支給。
- ③より専門性の高い支援技術を取得しようとする職員に対する勤務の弾力化。
- ④全ての支援員がサービス管理責任者の資格を取得することを目標に、順次研修に派遣。
- ⑤雇用管理改善のため、管理者が雇用管理に係る研修を受講。
- ⑥現場職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護機器の導入。(機械浴、エレベーター、電動昇降ベッド、ストレッチャー等)
- ⑦子育てとの両立を目指す職員のための育児休業制度等の充実。(一般事業主行動計画策定による。)
- ⑧マニュアル作成による業務の明確化。
- ⑨障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフトの配慮。
- ⑩非正規職員から正規職員への転換。

12、放課後等デイサービス事業における自己評価の実施

放課後等デイサービス事業について、管理者と現場職員それぞれの視点から自己評価を行いました。

評価結果については、次頁に掲載し、本「事業報告書」をもって公表することとします。

また、自己評価と併せて、保護者にもアンケート調査という形で評価を依頼しました。結果については、集計の上、書面にて保護者にお伝えしました。

		チェック項目	管理者 の観点	現場職員 の観点	分析結果
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○	*活動スペースは、十二分に確保されている。 *利用児童数に対して適切な職員配置をしているが、交代要員の確保が必要か。 *2019年度において、トイレの改修を予定しており、バリアフリー化を実現する。
	2	職員の配置数は適切であるか	○	○	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	×	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	△	*職員研修の参加については、交代要員を確保しなければ改善は難しい。内部研修の充実を図るとともに、WEB等を活用した研修を検討する。 *外部評価については、現状では考えていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	△	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	○	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	×	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	△	○	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	*活動プログラムについては、定期職員会議での振り返りを通して、必要に応じた見直しをすることが望ましい。 *長期休暇時のメニューは充実しており、集団活動の良い機会ともなっている。 *職員間の情報共有が重要であることを、会議のたびに確認する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	×	△	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	△	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	△	△	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	△	○	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	△	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	△	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	△	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	△	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	△		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	○	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	*立地条件の利もあり、特別支援学校との連携は十分に出来ている。 *他の事業所との連携も、児童発達支援管理責任者間で情報交換が出来ている。 *自法人の相談支援専門員を通じて、いろいろな情報を収集できるよう努めていくことが重要である。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	△	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	△	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	×	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	×	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	×	×	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	*契約締結時には必要な情報について説明している。 *日常の情報提供については、連絡帳や電話を活用している。 *会報等については、年に数回発行できるよう考えていく。 *保護者会については、積極的に望んでいる人は少ないが、その必要性を検討していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	×	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	△	
	35	個人情報に十分注意しているか	○	○	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	△	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△	×	*災害時の対応や虐待防止については、定期職員会議の機会を捉え、継続的に研修し、周知を図る。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△	×	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○		

○ …はい

△ …どちらともいえない

× …いいえ

— …該当なし